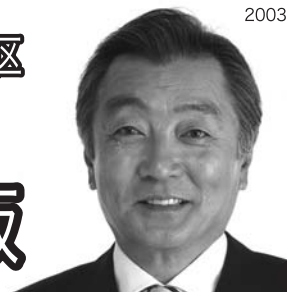




まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

松本純 まちかど政治瓦版



2003年6月16日創刊

発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

1月号
2015年
No.144

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

だれもが「景気回復」を実感できるように! 新春第1弾は総額3.5兆円の経済対策です

総選挙から1カ月、ニッポン再生にとって誠に重要な新年がスタートしました。総選挙で皆さまにお約束した政策を実現させるための行動も始まっています。

松本純は自民党副幹事長と政務調査会会長代理に留任しました。全政策の立案に関わるとともに政府提出法案の自民党・与党内の承認手続きのすべてにタッチする重職ですが、「景気回復」に向けて一層の緊張感をもって取り組んでいきます。



「政権公約」制作責任者の一人として説明する松本議員（磯子公会堂）

新年最初の仕事は景気を下支えするための経済対策とその裏づけとなる平成26年度補正予算案の国会審議です。「アベノミクスをさらに力強く前に進める」という自民党の訴えは総選挙で信任されましたが、「景気回復の実感がない」という声は広く存在します。総額3.5兆円の経済対策はアベノミクスの効果が十分に及んでいない地方や中小企業、子育て世代を中心とする家計をサポートするものです。同時に「ローカル・アベノミクス」ともいうべき「地方創生」を先行実施する政策も含まれています。

補正予算のうち最も大きいのが約4,200億円にのぼる新しい地方交付金です。生活支援型交付金により国は地域の消費を促すための特典つき商品券の発行などを支援します。また少子化対策交付金では結婚や出産情報などの提供事業や子育て世代支援センター・保育所の整備が進められます。省エネ効果の高い住宅を新築・改築した人に最大45万円分のポイントを付与する「住宅エコポイント」も再開され、緊急対策が必要な危険ドラッグに関しては鑑定器具の増設などで取り締まりの強化が図られます。

松本純の専門分野である「福祉」は消費税率10%への引き上げが延期されたことで財政的に厳しくなることは否定できません。消費税の引き上げは毎年1兆円以上増え続ける社会保障費に対応するためにとられた措置だからです。その中で社会保障をどう維持・充実させていくか? 政府は平成27年度予算編成の基本方針に「社会保障の充実は可能な限り予定通り実施する」と明記しています。松本純はこの予算編成を通じて「社会保障は後退させない」という皆さまへのお約束を実現させてまいります。

平成26年 第47回衆議院議員選挙(神奈川1区)選挙結果

		中 区		磯子区		金沢区		神奈川1区		
有権者数		114,798		136,195		167,507		418,500		
投票率		49.65%		53.38%		56.94%		53.78%		
投票者数		57,002		72,705		95,379		225,086		
	氏名	会派	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
当	松本 純	自民	29,888	54.45%	36,962	52.69%	46,994	50.89%	113,844	52.37%
比	篠原 豪	維新	16,035	29.22%	21,318	30.39%	30,708	33.26%	68,061	31.31%
	明石 行夫	共産	8,963	16.33%	11,867	16.92%	14,635	15.85%	35,465	16.32%
計			54,886	100.00%	70,147	100.00%	92,337	100.00%	217,370	100.00%

松本議員の活動記録

[2014年12月衆議院選挙活動]



12/4 駅頭挨拶
●配布中のピラも吹き飛びそうな冷たい風の中、後援会の皆様の熱い応援に、元気一杯になりました。



12/7 街頭遊説
●地元野毛での遊説会、子供の頃からお世話になってきた先輩や幼なじみが駆けつけてくれました。



12/7 森ヶ丘自治会もちつき
●間島福一会長にご挨拶すると、「餅をついていかなきゃ」とのお言葉に、お餅をつかせていただきました。



12/9 上田いさむ歯科決起大会
●主催は保土ヶ谷区・旭区歯科医師会。上田いさむ候補と私は与党責任者会議で法案検討する仲間です。



12/9 徒歩遊説
●石川町商店街から元町商店街へ。アベノミクスを加速させ、景気経済の回復、社会保障の安定を訴えました。



12/9 さくら会
●国政に6期目の挑戦となる今回の選挙です。必勝する決意をお話させていただきました。



12/12 街頭演説会
●友人の北原照久さんが応援に。社会保障制度堅持の必要性と厚生労働行政に尽力する決意を訴えました。



12/14 選挙開票速報
●6期目の挑戦を皆様を実現させていただきました。感謝の思いと仕事への責任の重さを実感しました。

永田町日記 ネット選挙解禁！睡眠時間を削って奮闘しました

衆院選でも今回から「ネット選挙」が解禁となりました。私の武器は「毎日更新」がウリのホームページ（HP）です。前回までは選挙公示とともに更新が禁止されていたのですが、それがOKになったのです。私のHPはビジュアル重視で、写真を数多く掲載するのが特徴です。街頭での選挙運動を終えて帰宅後の午後10時ごろから更新作業に入ります。選挙期間中は毎日500枚ほどの写真を撮りましたが、これを全部パソコンに取り込み、1枚1枚チェック。こうして選挙期間中の毎日、最高で104枚、最低で54枚をアップしました。もちろんコメントも添えます。このすべての作業が終わるのが午前3時半ごろ。6時半には駅頭挨拶が始まりますから、睡眠時間は3時間弱。最終日は1時間半という具合で、ネット選挙は私の睡眠時間を大幅に削ってくれました。でも皆さまからのアクセスが1日500~800、最終日は2,000に達し、おおいに励まされました。

私がHPを始めたのは次点で落選した平成12年です。変な話ですが、急にヒマになり、それでも「何かしなければ」と考えてスタートさせたのです。以来1人で毎日更新してきました。「スタッフにまかせたら」とおっしゃる人も多いのですが、写真の選択はやはり私の感覚でやりたい。さらにコメントを口でスタッフに伝えるなら、自分1人でやったほうがよほど早いということになります。こうして14年、国会や党本部ではカメラを肩にした私の姿はすっかり定着し、たまにカメラを持っていないと「あれ、今日はどうしました？」と不思議がられるほどです。麻生太郎副総理の福岡県飯塚市のご自宅（豪邸です！）の内部を“HP公開”したこともありましたが、このときには福岡県警に「警備のことも考えてください」としかられました。HPでは私の「今日の予定」も掲載しています。どうぞ一度ご覧になってください。そしてその感想やご意見をお寄せください。（純）



<http://www.jun.or.jp>